



甲南大学 社会人対象 プログラム

甲南大学のキャンパスへ。

今だから分かる、「学びの楽しさ」を

2025年度 受講生 募集

11/1～ 出願受付
開始!



人生100年時代の 学びプログラム

目まぐるしく変化する社会・経済・環境の中で、充実した豊かな人生を設計する場として、6つのコースをご用意しました。



3つの プログラムを 開講

在籍期間：1年間
(4月1日～翌年3月31日)



グローバル リテラシー 教育プログラム

グローバル化が進展する今、様々な国の人と尊重・調和・共存していくために、本プログラムへぜひご参加ください。



金融リテラシー 教育プログラム

現代社会を生きる私たち一人ひとりが、より豊かな人生を歩めるように、お金にまつわる知識と判断力を身につけませんか？



出願期間

1次募集 2024年11月1日(金)～2024年11月30日(土)(最終日消印有効)

2次募集 2024年12月20日(金)～2025年1月31日(金)(最終日消印有効)

(注) 1次募集の結果、2次募集を実施しない場合があります。

詳しくは甲南大学リカレント教育センターのホームページをご覧ください ▶



甲南大学
リカレント教育
センターHP



人生100年時代の学びプログラム

※本プログラムの詳細はこちらの
二次元コードからご覧ください



「大人の自己探求」コース (人文科学系)

様々なテーマの問答を素材とした対話で、自らの人生経験を振り返り、自己理解を深めます。

担当：西川 耕平
(全学共通教育センター 教授)

「ネクスト・キャリアをどう生きるか」コース (社会科学系)

定年後の働き方、社会とのつながり方など、充実したライフ・プランを様々な方面から考えます。

担当：吉田 清和 (名誉教授)

「多文化共生、グローバル社会で生きる」コース (多文化・国際系)

グローバル化により、多様化する社会について、ローカルとグローバルの双方から考えます。

担当：小西 幸男
(全学共通教育センター 准教授)

「自分自身のことばを見つめ直す」コース (社会言語学系)

ことばが社会の中でどのように使われ、働くのか、社会言語的観点からことばについて考えます。

担当：都染 直也 (名誉教授)

「情報の世紀 ~21 世紀を支える情報技術と科学~」コース (情報系)

調査や演習を通じ、インターネットをはじめとする情報技術の現状と仕組みについて理解を深めます。

担当：鳩貝 耕一
(全学共通教育センター 教授)

「ライフサイクルの心理学」コース (心理学系)

人の誕生から死をテーマに、ライフサイクルに着目し、意味のある「生」を生きることに着目します。

担当：宮川 貴美子
(全学共通教育センター 特任教授)



グローバルリテラシー教育プログラム

※本プログラムの詳細はこちらの
二次元コードからご覧ください



日本人講師による日本語で国際問題について考える授業と、ネイティブ講師による英語を使った授業から成る 1 年間のプログラムです。様々な国からのゲストを招き、質疑応答をする機会や、関心のあるトピックを選んで英語での発表に挑戦する機会もあります。

担当：Stan Kirk (全学共通教育センター准教授)、
平井 一樹 (全学共通教育センター特任講師) 他



金融リテラシー教育プログラム

※本プログラムの詳細はこちらの
二次元コードからご覧ください



甲南大学の教授による理論系の講座や、金融機関から講師を招いて実施する講座から構成されたカリキュラムです。大学の専門家と金融機関による講座から、お金に関する知識や判断力を磨くことで、「自らの資産管理」や「ビジネスにおいての一定の金融リテラシー」を身につけることを目指します。

担当：梅本 剛正 (全学共通教育センター教授)、木成 勇介 (マネジメント創造学部教授)
協力：三井住友信託銀行株式会社、SMBC 日興証券株式会社、
公益財団法人 生命保険文化センター

受講科目 ◆ プログラムの詳細はホームページまたはリーフレットをご覧ください。

資料請求は下記または
右の二次元コードから ▶



<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mhtg-lekfkj-2a835a6acaa20ab4f8ddb1964b204761>

本プログラムに関する
お問い合わせ・資料請求

甲南大学 社会連携機構 リカレント教育センター
〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

TEL 078-431-4341 (代表) / 078-435-2598 (直通)
お問い合わせ時間 平日：9 時～17 時
E-mail recurrent@adm.konan-u.ac.jp